

平成 26 年度第 1 回秩父市地域公共交通会議 会議録

とき

平成 27 年 3 月 25 日（水）午後 1 時 30 分～

ところ

秩父市役所歴史文化伝承館 2 階和室

出席者

委員 10 名（欠席 4 名）、事務局 6 名

内容

1. 開会

2. 会長あいさつ（会長：横井副市長）

3. 議事（議長：会長）

（1）秩父市営バス川又線の経路変更（一部廃止）について

事務局より資料により説明。

・大滝中学校閉校により、スクールバス混乗型から路線バスのみの運行とし、「大滝中学校」バス停ならびに同校の生徒が乗降していたバス停を廃止する。

これに対し、議長は委員に意見を求めた。

会長：路線の変更によりバス停が廃止になるが、この区間の代替交通はあるのか。

事務局：「大滝中学校」停留所は廃止となる。その他のバス停は、西武観光バス中津川線の路線内にバス停があるため代替となる。

事業者：鉄道の乗り継ぎについては改善されている。

委員：待ち時間が少なくなるということでしょうか。

事務局：平日の大滝温泉方向 2 便について、西武観光バスの協力により三峰口駅での待ち時間を 50 分から 12 分に短縮いただいた。

委員：三峰口駅で 30～40 分の待ち時間があつたので秩父鉄道影森駅での乗り換え待ちも含め、解消できてとてもよかった。

委員：利用客は何人くらいいるのか。

事務局：平成 26 年度はスクール便を除いて 2,093 人。

事務局：1 日平均でいうと平成 23 年度が 11.5 人、24 年度が 7.08 人、25 年度が 8.03 人となっている。

事務局：往復 8 便と考えると、1 便当たり 1 人くらいしか乗客がいらない。

委員：登山客もバスに乗るのか。

事務局：市営バスではなく、西武観光バスを利用し、川又・栃本方面へ行く人がいるようだ。

事業者：西武秩父駅 8 時 25 分発中津川線（川又経由）を利用する登山客がいる。

会長：1 日の三峯神社への輸送の状況は。

事業者：一般車の渋滞で大変。アクセスに5時間待ちの事態となった。天候が良く、参拝客が神社周辺を散策するらしく、駐車場の回転がとても悪いことが原因と思われる。市に駐車場を增強していただけるとありがたい。

委員：タクシーでも同じくらいの時間がかかってしまう。大血川経由の裏道を使うケースもある。

会長：大血川経由は乗用車であれば通行できるし多少は早いと思う。

委員：市営バスにもお客が乗ってもらえるといいと思う。

議長は、委員からの意見が出尽くしたところで、秩父市営バス川又線の経路変更については、本会議で「合意に至った」ことを了承するか委員に諮った。

⇒委員から反対意見もなく、協議が調ったことが承諾された。

4. その他

委員：秩父巡礼バスについて報告する。平成26年3月～11月の土日休日延べ92日間運行した。総利用者は7,843人で1日平均85人となった。メディアで取り上げられ話題性もあり、盛り上がった。特に11月は、1便当たり15人、1日130人超の利用客があった。「あの花」ラッピングのボンネットバスについては、透明なガラスに交換して市内の路線バスで引き続き使っていきたい。

他は特に意見なく、以上で協議を終了し、会長は議長の座を降りた。

5. 閉会